

お問い合わせ先  
三好市 企画調整課

電話 72-7607・ファックス 72-7202  
kikakuchousei@city.tokushima-miyoshi.lg.jp



迎えていきます！

条例制定が大詰めを

昨年度から市民の皆様にご協力をいただきながら取り組みを進めてきました「まちづくり基本条例」については、1月のパブリックコメントを経て、今月初旬には『三好市まちづくり基本条例』の最終審議を終え、策定審議会の答申書が市長に提出される予定です。

これまで、「市民委員会」、「市民の意見を聞く会」、「審議会」と「講演会・勉強会」を含め延べ39回の会合を重ねてまいりました。

参加いただいた市民の皆様、市民委員をはじめ、ご意見をいただいたたくさんの方々大変ありがとうございました。

今後は、三好市議会3月定例会に条例案提出、可決されれば4月1日から9月30日までを周知期間として、10月1日施行となる予定です。

開催日時	会議名	備考
平成22年8月26日～	まちづくり条例を考える市民委員会	計14回開催
平成22年10月2日	まちづくり条例講演会・勉強会	
平成23年1月13日～3月24日	まちづくりについて市民の意見を聞く会	市内6地区で開催
平成23年1月27日	まちづくり条例講演会・勉強会	
平成23年6月16日～7月4日	まちづくり条例についての説明会	市内6地区で開催
平成23年10月～	審議会前文起草部会	計2回開催
平成23年10月～	審議会条文起草部会	計2回開催
平成23年10月～	まちづくり条例策定審議会	計5回開催予定

※会議の詳細内容は、三好市ホームページで公開中です。ぜひご覧ください。

QRコードでアクセス



# 連載 地域おこし協力隊

## 活動報告

⑦

### 酒祭り前夜祭

藪下 敬太

新年があけ、一か月が経ち、三好市の冬の寒さを実感し、心体共に引き締められる想いでいっぱいです。そんな2月には三好市の大イベント「酒まつり」があり、今回酒祭り実行委員としてイベントに参加させて頂く事になりました。そこで、私が考えたのは「お酒」が飲めない人でも、未成年でも楽しめる「酒祭り前夜祭」です。



元々、京都に在住していた頃は音楽イベントの企画をよくさせて頂いており、今回の前夜祭ではその経験を活かし「お酒に酔えなくても、音楽・映像・雰囲気」に酔える「前夜祭」を作ろうと考え、協力隊同士の下川さんと共に企画いたしました。場所も、現在は空きテナントになっている池田町のサンライズの下をお借りし、開催させて頂く事になり、出演者も最近TVで話題の全国おやじコンテスト1位に輝いたカマンベール、京都の大型フェスみやこ音楽祭で大

反響を得たLainy J grooveなどへのオファーを成功し、「共に酒まつりを盛り上げよう」という心強いお言葉も頂いております。

音楽・映像という狭いジャンルではありますが、私は音楽の可能性を信じています。人の感情を左右させるのは聴覚と視覚であり、今回のイベントはどちらも上手く刺激できるイベントであると思っております。ご興味をもたれた方は市役所地域振興課、地域おこし協力隊の藪下までお気軽にご連絡ください。

### 海外から見た三好市の魅力

上條 由紀子

早いもので、協力隊に着任してもう7か月ですが、私が「三好に住みたい！」と思ったのは、語学も活かし、伝統的な日本の生活を、より多くの方に伝えたいからです。

今回、海外のジャーナリストや旅行業者の方たちを招き、三好の観光記事を書いたり、旅行商品の企画をしていただくためのモニターツアーに同行させていただきました。

私は主にフランス人ジャーナリストの方に随行したのですが、池田での日本酒試飲では「爛が好きです」とのこと、詳しい好みにビックリしました。また、別の映像作家の方は、紙と木でできた障子一枚でも優れた保温力だと、日本の建具の素晴らしさに感心しておいででした。

そして、三好の素朴な食文化にも、皆さん高い関心をお持ちで、祖谷蕎麦打ちの体験に続く昼食では、「こんにゃく」「卵の花」「山菜」「よもぎ」など、日

本独特の食材について、たて続けに質問され、日本料理について英語で書かれた本を読むなど、お陰で私も、大変勉強になりました。

外国の方が驚嘆する美しい自然と、素朴で健康的な山の暮らし。私もここでの生活の知恵を学び、古民家でエコ・ゲストハウスを始め、日本の文化を世界に発信できたら！…そんな思いを再確認いたしました。



## 私たちの大切な 地域医療を守るために

住民・医療者・行政が一体となり、「地域医療」を守っていくため、様々な情報を発信します



## 三好市医師会が救急医療功労者 厚生労働大臣表彰を受賞

この度、日頃より三好市医療のため御尽力いただいている三好市医師会が平成23年度救急医療功労者の厚生労働大臣表彰を、平成23年9月9日（9月9日は救急の日）、厚生労働省において厚生労働大臣よりこの名誉ある賞を受賞されました。

三好市医師会（旧三好郡医師会）は昭和52年11月から現在に至るまで、夜間休日当番制を実施しており、また、平成21年7月からは医師不足が懸念されている県立三好病院の夜間応援診療にも従事していただいています。

【夜間休日当番医制とは】

三好市医師会の先生方により、夜間・休日に初期救急医療体制の役割を担っていただいています。平日夜間は午後5時から午後11時まで、休日は午前9時から午後11時まで、三好市医師会の14医療機関の先生方が輪番で初期救急患者（軽症者）の診察に取り組んでいます。また、7医療機関の先生方が輪番で週1日、医師不足の中、救急患者

の受け入れが多数ある三好病院の救命救急センターへの診療応援にも取り組んでいただいています。

【夜間休日当番医制だけではありません】

三好市医師会の先生方には各々の病院（診療所）で通常の診察を終えてからも、三好市民のため、三好市医療のため、行政などの多々ある会議・協議あるいは事業などに三好市保健医療全般において、多大なる御尽力・御協力をいただいております。

この「私たちの大切な地域医療を守るために」のコーナーでも、三好市医師会長内田伸昭先生に、「地元開業医として三好市地域医療」をテーマに、地域に密着したこれからの医療について語って頂いております。

詳細は、市報みよし第46号（2009年12月10日発行）の特集「三好市地域医療を語る」をご覧ください。

三好市保険医務課 医療担当  
電話 72-7613  
FAX 72-7201

## 高額療養費制度が変わります

平成24年4月1日から

従来は入院のときだけ適用されていた「認定証」が  
外来にも適用されるようになり、  
窓口で一定の金額以上を支払う必要がなくなります。

### 今後必要な手続きについて

#### 1. 事前に「認定証」の交付申請をしてください



同じ月内に支払った自己負担額が、自己負担限度額【国保のしおり参照】を超えると、「認定証」の交付申請が事前に必要となります。ただし「70歳未満」と「70歳以上75歳未満」の人では、自己負担限度額が異なります。

【注意】

- ①限度額は所得区分によって異なりますので、所得の申告が必要です。
- ②国保税を滞納していると、申請が認められない場合があります。

#### 2. 「認定証」の交付申請が必要な方

高額な外来診療の受診者	事前の手続き	病院・薬局などで
・70歳未満の方 ・70歳以上の非課税世帯の方	本庁1階保険医務課(7番窓口)か、総合支所に「認定証(限度額認定証)」の交付を申請してください	「認定証」を窓口に表示してください
・70歳以上75歳未満で非課税世帯等ではない方	必要ありません	「高齢受給者証」を窓口に表示してください
・75歳以上で非課税世帯等ではない方	必要ありません	「後期高齢者医療被保険者証」を窓口に表示してください

※「認定証」を提示しない場合は、従来どおり高額療養費の支給申請をしていただければ、自己負担限度額を超えた分が高額療養費として支給されます。

#### 3. 交付申請手続きについて

- 【受付開始日】 3月1日から
- 【場 所】 本庁1階保険医務課(7番窓口)か、各総合支所
- 【必要なもの】 保険証、印鑑

お問い合わせ先 三好市保険医務課 国民健康保険・後期高齢者医療担当 電話 72-7613

～健康で、そして笑顔で過ごしてほしいから～

## ヘルスマイル教室の参加者募集



「三好市特定健診」や「みそじ健診」の結果では、若い世代の方にも、血糖値が恒常的に高いことを意味する『HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）』や、動脈硬化の危険因子である『LDLコレステロール』の高い人が多く見受けられました。生活習慣病は、毎日の生活習慣の積み重ねによって起こります。ヘルスマイル教室に参加して、健康について一緒に考えませんか？

【日時】 3月1日（木）15日（木）22日（木）29日（木）10時から11時30分 ※全日程参加が原則です。

【場所】 三好市保健センター 多目的ホール

【対象者】 40歳代までの方

【内容】 健康チェック（血圧・血糖値測定など）  
運動実技  
健康と栄養の話

※参加される方は申し込みをお願いします。  
※保育を希望される方は申し出てください。



【お申し込み・お問い合わせ先】  
三好市保健センター内  
三好市健康づくり課  
(電話72-6767)